

とまこまい 市議会だより

第30号

2020年8月1日発行

TOMAKOMAI CITY
COUNCIL NEWS

編集・発行・お問合せ先：苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

共通記事

第7回定例会、補正予算の主なもの 2p～

委員会記事

常任委員会、特別委員会報告 4p～

会派のページ

各会派議員活動報告 6p～

ピックアップ

新型コロナウイルス感染症対策、議会日程のお知らせ 12p

苫小牧市議会 HP



第7回定例会を開催しました。〈令和2年6月11日(木)～19日(金)〉

苫小牧市議会

検索



防ごう、コロナと熱中症。

みんなでしよう、6つの行動。

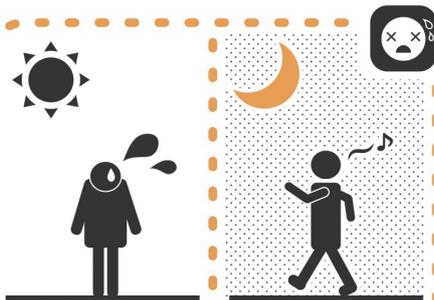
苫小牧市
TOMAKOMAI CITY, HOKKAIDO

(令和2年6月26日作成)

のどが渇く前に
こまめに
水分補給する



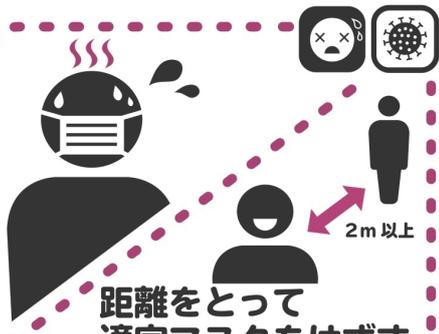
暑い日や時間帯を避ける



手を洗う
または
手を消毒する



距離をとって
適宜マスクをはずす



換気をして室内を涼しく



暑さを避ける



※熱があるときや体調が悪いときは外出を控えましょう。一人ひとりの心がけが感染拡大防止につながります。



令和2年度 補正予算の主なもの

支援 ▶1億52万8千円 中小事業者持続化支援事業費

売り上げが大きく減少した市内中小、小規模事業者への定額給付支援（国の持続化給付金給付決定者のうち、新型コロナウイルス関連の融資を受けたもしくは、国の雇用調整助成金を受けた事業者に10万円支給）

給付 ▶2億5,037万円 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得者のひとり親世帯への子育て負担の増加や、収入の減少に対する支援（児童扶養手当給付世帯が原則、その他、収入が大きく減少し児童扶養手当の対象になる水準に下がった方）

議会 議会費 ▶1,014万円削減

政務活動費交付金半額、委員会視察旅費を削減

支援 市内大学等 学生支援事業費 ▶697万円

令和2年5月1日時点の駒澤大学学生、および苫高専の留学生支援（一律5万円支給）

図書 電子図書館整備事業費 ▶500万円

市立図書館における児童向け電子図書を拡充

創出 地域新成長産業創出促進事業費 ▶9,700万1千円

テクノセンターへ、超微細4次元×線CT解析装置を導入



水道 下水道事業会計繰出金 ▶4,060万円

水道事業会計繰出金 ▶3,940万円

水道及び下水道各会計が実施する、要件に該当する事業者への負担軽減の支援（北海道の「休業協力・感染リスク低減支援金」もしくは、市の「休業支援金」の給付を受ける事業者へ休業要請期間に係る2カ月分の水道料金・下水道料金の全額を減免）※注→原則として前年同月の請求額を負担軽減の上限額とする。

防災 ▶1,000万円 防災備蓄品整備事業費

感染症予防対策としての備蓄品購入（検温器150個・使い捨てマスク5万枚・消毒液1,200本・ビニール手袋250箱）

対策 ▶800万円 新型コロナウイルス感染症対策医療支援等事業費

医療従事者の感染予防・安全確保のために医療資材を支給し補助、支援する（サージカルマスク・消毒液・補助金）

第7回定例会(令和2年6月11日～6月19日)

一般・特別・企業会計で11億2,468万3千円の補正予算を可決

第7回定例会は6月11日から19日までの9日間の会期で、報告15件、議案28件、諮問1件、意見書案2件などの審議が行われました。開会に先立ち、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐために献身的な対応にご尽力されている医療・介護従事者の皆さまや、全ての市民の皆さまに対し、感謝と激励の拍手を送りました。今定例会で一般質問に登壇した議員は17名、主な内容として、新型コロナウイルス感染症の関連事項については多くの議員から現状や今後の対応について質問や議論がされました。その他に、教育行政、福祉行政、防災行政、環境行政などについて活発に質問や意見・要望が提案されました。新型コロナウイルス感染症による影響により、本市の経済および市民生活ならびに財政への影響が懸念されることから、市・事業者・市民が一丸となってこの難局を乗り越える意思を示す取り組みとして、令和2年7月の議員報酬月額を減額するための条例の一部改正を議員提案として提出、また、市長・副市長・教育長および常勤監査委員の令和2年7月の報酬月額を減額するための条例の一部改正が提出され、どちらも原案どおり可決されました。会期の後半には、各常任委員会・特別委員会が開催されました。



コロナ禍で尽力されている全ての市民へ感謝と激励の拍手が送られる

※各委員会の内容につきましては、常任委員会・特別委員会の4ページ・5ページをご覧ください。

例の一部改正を議員提案として提出、また、市長・副市長・教育長および常勤監査委員の令和2年7月の報酬月額を減額するための条例の一部改正が提出され、どちらも原案どおり可決されました。会期の後半には、各常任委員会・特別委員会が開催されました。

賛否の分かれた案件

第6回定例会で継続審査となっていた2つの陳情について賛否が分かれました。各会派の見解は下記のとおりです。なお、議案については、全会一致で可決となりました。

		新緑	公明党 議員団	民主 クラブ	改革 フォーラム	日本共産党 市議団	会派市民	無所属
陳情第1号	最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める要望意見書提出に関する陳情	×	×	○	×	○	×	×
陳情第2号	子どもの医療費助成の年齢拡大を求める陳情	×	×	×	×	○	×	○
各会派所属議員 (金澤俊議長は採決には加わりません)		矢嶋 翼 板谷 良久 竹田 秀泰 木村 司 金澤 俊 宇多 春美 喜多 新二 山谷 芳則	神山西太郎 大西 厚子 大野 正和 藤田 広美 池田 謙次	松尾 省勝 岩田 薫 佐々木修司 橋本 智子 小山 征三	松井 雅宏 越川 慶一 首藤 孝治 牧田 俊之	小野寺幸恵 原 啓司 富岡 隆	桜井 忠 谷川 芳一	触沢 高秀

○：賛成、×：反対、△：会派で賛否が分かれた場合、－：採決に加わらなかった場合

国・道および関係機関に意見書を提出

- ① 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書
- ② 中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める要望意見書

◆総務委員会

◇継続審査を含む11項目を審議！

越川 慶一 委員長

第2期苫小牧市人口ビジョンおよび総合戦略では、将来の人口推計を基に、現在の苫小牧市の人口17万人を、20年後には15万人、40年後には13万人とする人口将来展望が設定されました。目指すべき将来の方向性については、総合戦略を策定し、人口が減少しても持続することができる「未来に向かつて挑戦し続けるまちづくり」を進めるための戦略が示されました。その他、行政創生プラン、地域情報化計画などについても活発な議論がありました。

◆厚生委員会

◇市立病院における新型コロナウイルス感染症への対応について

宇多 春美 委員長

「子どもの医療費助成の年齢拡大を求める陳情」は陳情者の趣旨説明のあと、道やほかの自治体の現状の確認や、通院助成の拡大については全額市費で賄う財政面の確認質疑があり、審査結果は賛成少数で不採択となりました。

◆文教経済委員会

◇10件の所管事項に活発な質疑！

大西 厚子 委員長

「卸売市場法改正に係る業務規程の改正について」では、業務規程などの改正の方向性や改正内容の骨子について説明があり、委員からは想定される効果や改正後のフオー体制などについて質疑が交わされました。

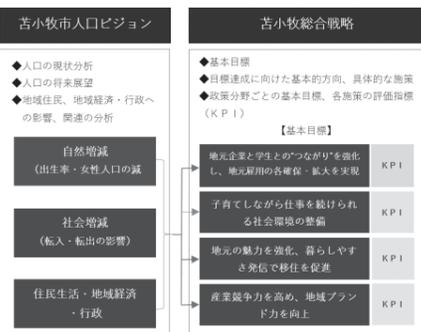
◆建設委員会

◇水道事業・下水道事業経営戦略の策定について議論！

谷川 芳一 委員長

「いつも・いつまでもみんなで支える下水道」を基本理念に令和元年度から10年度までを計画期間とした水道事業・下水道事業経営戦略策定について報告がありました。新型コロナウイルスが水道事業に及ぼす影響について質疑が交わされ、今後の新しい生活様式の影響や最新の使用量検針データなどを注視し経済の戻り具合を把握しながら分析をする必要があると答弁がありました。

◆常任委員会



所管事項の「市立病院における新型コロナウイルス感染症への対応について」は、2月21日から6月10日現在、感染症確定入院患者は18人、疑似症入院患者は53人、感染症病床は4床から12床へ増床したとの現状報告。加えて院内感染対策は、発熱などのある予約患者と動線分離し診察スペースを確保。防護員在庫状況は、マスク・ガウンなどは概ね確保され、複数の企業・団体、個人の方から心温まる支援に対して感謝の言葉がありました。



発熱待合で院内感染防止



第2学校給食共同調理場の建築計画の外観イメージ図

「苫小牧市第2学校給食共同調理場改築事業について」学校給食共同調理場の整備・運営については、第2学校給食共同調理場は令和4年1月供用開始予定とし、供用開始においては第1学校給食共同調理場の軽減を図るため受配校の変更を行うなどの説明がありました。

また、地籍調査事業では、本市は事業未着手でありましたが、東日本大震災などの地震、津波や火山などによる大規模自然災害時の復旧がスムーズに進められた事例もあることから、着手に向けた事業計画を作成するとの報告がありました。



委員会風景

◆特別委員会

◆総合開発特別委員会

◇環境影響評価調査結果で論戦！

竹田 秀泰 委員長

苫小牧国際リゾート構想環境影響評価調査結果の報告を受け、今後の国際リゾート構想に対する考え方などについて多くの委員より質疑がありました。

また、米軍再編に伴う米軍機訓練移転および航空機部品落下事業、西港区汐見地区屋根付き岸壁の火災の概要と状況の報告、東胆振定住自立圏構想の厚真町との更新、CCS大規模実証試験の30万トン圧入終了に伴う事業の見おおよび今後についての報告に対し、各委員より質疑がありました。



調査対象区域図

その他として、北海道における空港経営改革の経過と今後のスケジュール、苫小牧港港灣整備事業予算および苫小牧港の港勢について報告がありました。

◆安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

◇避難所運営マニュアルを改定！

松尾 省勝 委員長

新型コロナウイルス拡大防止の観点から、3密対策として本委員会の会議は、本会議場で行われました。



3密を避け議場で開催

所管事項の報告は4件あり、王子製紙(株)苫小牧工場重油移送配管の廃止については、末広町から苫小牧工場までの移送配管に腐食箇所が発見され、大規模改修が必要になることから全線廃止が決定されたと報告がありました。

避難所運営マニュアルについては市は、北海道胆振東部地震の対応新型「コロナウイルス感染症の対応を踏まえた改訂を明らかにしました。

委員からは、備蓄計画の充実、ペットへの対応、期限切れ備蓄米の活用などへの質疑がありました。

◆議会改革検討会

◇定数を現状維持の28人に決定！

全員協議会からの申し送り事項における次回市議会議員選挙の議員定数については、正副議長を除き、現状維持17人、削減7人、増員1人、保留1人となる全員協議会の意見集約を基に正副議長案が示され、現状維持の28人とするものが決定しました。なお、議員定数のルール化、常任委員会の数や複数所属、委員会視察や政務活動費などの経費削減については、今後も検討することが確認されました。

議会ICT化の推進では、実務者会議からの答申を受け、運用方法や導入機器、費用負担および予算要求の考え方が示され、引き続き検討事項はありますが、令和3年度の導入に向けて予算要求することが決定しました。

また、議会基本条例を制定した際に、議会活動に関する情報の積極的な公開および発信、ならびに市民意見の把握に努め、

広報広聴の充実を図ることを目的とした内容が盛り込まれました。市民との意見交換については、さまざま手法がありますが、令和2年度については、秋頃に試行実施として、議会改革検討会のメンバーと市民団体との懇談を行い、今後の課題などを検討することが確認されました。

今後につきましても、スピード感を持って議会改革に取り組んでまいります。





矢嶋 翼 議員

秀泰 芳則 俊二 山谷 新二 司 良久 澤 喜多 木村 板谷 翼 春美 矢嶋 宇多



木村 司 議員

新

★苦小牧市新型コロナウイルス緊急経済対策小規模事業者向けパッケージについて質疑しました。1月28日に北海道で、2月22日に本

緑

★自殺対策行動計画について質疑しました。委員会では、本市の現状として、10〜30代の死因の第1位が自殺であり、がんよりも上位となっていることも明らかになり、市内の自殺の特徴も示されました。国や北海道の上位法や計画に基づき、本市の地域特性を把握し、そ



金澤 俊 議員

こに対応していけるのが今後の



宇多 春美 議員

★コロナウイルス感染症による子どもへの支援について、学校の長期休業に伴う学力面での不安に対しては、放課後の補習など個人に合わせたきめ細やかな指導を各学校に働きかけること、保護者も子どもたちも経験したことのない生活のストレスが、児童虐待に繋がる心配に対しては、子どもたちの心のケアに留意する、また不安や悩みを訴える機会を作り必要に応じてスクールカウンセラーなどの関係機関と連携し、早期発見・早期解決に向けて全力で取り組むと答弁がありました。



板谷 良久 議員

★新型コロナウイルスの感染症対策である「新しい生活様式」の普及では、ウイルスと共存するというメッセージが伝わりにくいこと

を指摘し、ウイルスの拡大を防ぐ手だては、私たち自身の強い意志と行動のみであるという「ウィズ・コロナ宣言」を広めることの必要性を訴えました。

★人との間隔はできるだけ2mあけるといふ「ソーシャルディスタンス」は、地域経済へのダメージが大きいことを指摘しました。また、計画中の市民ホール設計への影響を質問し、ソーシャルディスタンスについては運用で対応し、計画どおり現状の設計のまま進めることが明らかになりました。



山谷 芳則 議員

★総務委員会において、公共交通の現状と新型コロナウイルス感染防止の対応と駒澤大学の現状と今後の方針について確認し、外国人のための大学ではなく、地元学生が多く通う魅力ある大学になるように努めることを要望しました。

★小中学校の行事のあり方について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった運動会を実施してほしいという保護者からの声が多数あることから、秋に実施してはどうかと提案しました。さらに、学習発表会も体育館内が3密状態になり感染リスクが高いことから、秋に運動会と学習発表会の内容を盛り込んだ参観日を、低・中・高学年に分けて実施してはどうかと提案し、分散での参観日の実施も選択肢の一つであると考慮しており、感染リスクを抑えながら保護者に子どもたちの頑張りを見せる場を設定できないかを検討すると答弁がありました。



喜多 新二 議員

★中小企業振興について、新型コロナウイルスの影響による中小企業に対する支援策と対応を確認し、大きく影響を受けた繁華街や飲食店への賑わいを取り戻すための市職員による段階的自粛の解放を大手企業や市民に促すための行動を求めました。

★学校給食の地元企業活用についての現状を確認し、さらなる地元食品業者への活用に関する方策を

自殺対策の重要なポイントとなります。本市の自殺者数はここ数年増減を繰り返していますが、なんとしても自殺者数ゼロを、全市をあげて官民一体となって実現したいものです。



竹田 秀泰 議員

★新型コロナウイルス感染症対策で新たな支援事業としての市の考え方を質問し、市長よりプレミアム商品券発行を検討しており、実施時期や事業内容を早期に固めスピード感を持って行うと答弁がありました。

★ごみ収集員への新型コロナウイルス感染症対策について質問し、感染防止のために市民へごみ出しマナーの徹底と、ごみ収集委託業者に夏場の熱中症対策に取り組むように協議すると答弁がありました。

★第2学校給食共同調理場改築事業のプロポーザル結果について質問し、1グループ4社企業体の応募があり、審査の結果評価点が既定の水準に達しているため、優先交渉権者となりましたと答弁がありました。



桜井 忠 議員



山谷 芳一 議員

■一般質問
1. 市長の政治姿勢
(1)東部開発およびRの今後の展開について
ラスベガスのあるネバダ州が全米一の失業率になりコロナに弱いことを露呈した。市でも観光入込客数などを調査し直さないか。
カジノはコロナなどに弱く、市民は不安に思っている。ゼロペー

スで見直すべきではないか。
カジノは生活に密着せず、行政の支援は市民生活に先立つものではないと考えると思うがどうか。
苦東をダブルポートとして災害に強い立地環境を生かすべき。
農業に積極的に取り組むべき。
クルーズ船誘致の方針転換は。

(2)青少年の健全育成について
A. 養育費不払いについて
先進自治体では保証会社に取り立てをお願いし、その料金を市が助成している。市も検討しては。

I. 予防接種について

子宮頸がんワクチン4価のガーダシルは副反応で積極推奨しないが、今回9価のシルガード9の申請があり持ち回りWeb会議で審査された。この二つのワクチンは基本設計、成分が同じだが、なぜ一つは積極推奨しないのに、認可されようとしているのか。
取扱説明書には予防効果の持続期間は確立されていない。10代の子供に打っても死亡率が高いのは40歳以降、市の見解は。
重篤な副反応の原因がアルミアジュバントといわれているが、シルガードは倍量入っている。大丈夫か。

コロナ反対派が集まらないなか審査するのは疑問がある。
今回の事態を見てもWHOは信頼できないのではないか。
ウ. 中高生の妊娠について
コロナで休校になり妊娠相談が増えている。苦小牧はどうか。今後相談が増える可能性があるの

しっかり対応してほしい。
◇成人式について
苦小牧は時期をいつにするのか、発表のスケジュールは。

民主クラブ

松尾 省勝・岩田 薫・佐々木修司
橋本 智子・小山 征三

《補正予算質疑》
松尾省勝議員

★市民およびバス運転士への感染リスク低減を図るための市内路線バス運転席周辺への防護スクリーン設置支援について、道内外からの移動者も多いことから、都市間高速バスについても、対象とすべきと指摘をしました。

市側は、事業者との協議を進め、適切な判断をするとの見解を示し

ました。

★新型コロナウイルスの影響で売上が減少している事業者に市が独自で持続化支援金を支給することが決まりましたが、10万円の支給を進めるにあたり、事業者が利用しやすい条件緩和や周知の工夫を進め、使いやすい制度にすべきと指摘をしました。

《総合開発特別委員会質疑》
小山征三議員

苦小牧国際リゾート構想環境調査結果報告書が提出されました。予算提案時、市側は「データに基づく客観的な評価をする」としていましたが、報告書には、開発に対する市の前向きな考え方が含まれ、客観的とは言い

難いと指摘しました。また、今、優先すべき課題は①新型コロナウイルス感染症防止の緊急対応②感染症に対する今後の備え③市内の中小企業支援であり、訪日外国人旅行者需要の回復はその後であることから、R議論の当面凍結を求めました。若倉市長は「こういう時だからこころんな議論をやっていくべき」とし、凍結する考えは「0%」と述べました。

一般質問
岩田 薫議員

★情報の管理では、新型コロナウイルス感染症について多岐にわたる情報処理の方法と、大臣などの発言から市民が混乱したことを指摘し、今後しっかりと検証することを求めました。

★医療体制については、市立病院の医療従事者の体制を確立することおよび、財政支援について国や道に求めるよう要望しました。

★報告に対する
市が行った新型コロナウイルス
型コナウイ

ル感染症対策の補正予算が、2回にわたり議会を開催せず専決で行ったことについて、議会で審議し検証を行い今後にかさすべきと求めたことに対し、市側からは、次期補正予算は臨時議会を開催するとの答弁がありました。

橋本智子議員

★新型コロナウイルス感染症に関連してごみ収集時の作業員への感染症対策と、マスクなどの廃棄方法の市民周知について質問しました。

市側は苦小牧廃棄物協同組合と協議を

行っており、市民向けにはホームページや新聞などを活用し、周知したと答弁がありました。

★再開した学校教育現場の感染症対策と課外活動について質問し、スポーツ大会や文科系クラブの発表の場の確保を要望しました。

★社会教育施設での新しい生活様式の下での生涯教育のあり方について、図書の消毒や「おうちミュージアム」などの取り組みの継続を求めました。

佐々木修司議員

★新型コロナウイルス感染症による市民生活への影響については、①自粛中の町内会運営と活動②民

生委員の活動について、市の対応と支援を質問しました。

★苦小牧国際交流拠点構想実施計画の策定については、計画策定業務の受託者を決める公募手続きが新型コロナウイルス感染症拡大の真ただ中であつた3月16日に行われていたため、コナ禍の収束状況を見極めながら行われるべきであつたこと、また、公募時期を遅らせることにより公募への参加者が増え、より広い選択肢を持たせた可能性があつたことを指摘しました。

公明党議員団

池田 謙次・神山哲太郎・大西 厚子
藤田 広美・大野 正和

今回の議会質問は、当然の如くコナ関連の内容でした。

台風シーズンを迎え、さらには頻繁に発生している地震など、現在のコナと自然災害が重なった時の対応を重点的に質問しました。

避難所の備蓄品はじめ避難時の3密対策は喫緊の課題です。さらに、令和元年度から質疑していたオンライン診療の実施を訴え、3月から、まず音声による実施。さらには、画像によるオンライン診療の実施を強く要望しました。

最後に、休校が続き分散登校が始まりましたと同時に、短期間で、6件の声かけ事案が発生。幸いにも、大きな事件とならず未遂となったが、通学路に防犯カメラの設置を要望し、「早期に検討」との答弁がありました。

霊葬場の新型コロナウイルス感染症対応について、感染リスクを極力避けるためにコナウイルス感染症で亡くなった方の受け入れ体制について質問し、独自のガイドラインを制定し対応していくとの答弁がありました。その他、学

校休校と再開後の対応、職員の間について質問しました。

新型コロナウイルス感染症対策医療支援等事業について、いま不足している医療資材の把握や終息が見えない中での追加支援などについて質疑。医師会と協議しマスク、消毒薬以外の不足資材についても支給を想定し、今後も対応していくとの答弁がありました。

大西厚子議員

新型コロナウイルス感染症対策の市内大学等学生支援金についての質疑で、支援の対象は苦小牧駒澤大学の留学生を含む学生128人と苦小牧工業高等専門学校外国人留学生7人であると答弁がありました。今回の支援の対象外となる学生や高専生、同世代の市内高校生への対象拡大を求めました。

災害備蓄品について、ハンドソープや哺乳瓶の消毒剤の追加を提案し、国の第2次補正予算などで対応を検討すると答弁がありました。ほか液体ミルクの備蓄、分散型備蓄倉庫の拡大を求めました。

避難所運営マニュアルに追記されたペット同行避難の推奨について質疑し、避難所での体制整備と市民周知の充実を求めました。

大野正和議員

補正予算にて、中小事業者持続化支援事業について質疑しました。その他の支援事業で事業所情報などを使用することに同意された方に直接の案内通知を提案し、準備を検討するとの答弁がありました。

一般質問では、GIGAスクール構想について一人一台の端末を整備する上での使用目的・方法を明確にした上でさまざまな提案をし、見解を求めました。学校や地域などからも意見をもらい、さまざまな活用方法を検討するとの答弁がありました。

臨時特別給付金などがある中で、特殊詐欺などの懸念があるため対応についても質問し、交通安全指導員が家庭訪問した際に声掛けとチラシ配布など新たな取り組みを行うことになりました。避難所の運営などについても質問しました。



池田謙次 議員



神山哲太郎 議員



大西厚子 議員



大野正和 議員



改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一
首藤 孝治・牧田 俊之



越川慶一議員



一般質問動画

【コロナ禍での財政状況は】市税収入の減少が見込まれるため財政見通しを質問し「税収は1年間で約1億2千万円の減収を想定しますが、新たに設けられた徴収猶予特例債の借入れも可能であり今年度の歳入への影響は少ない」との答弁がありました。

【避難所運営マニュアルに感染症対策を】令和2年3月に改訂されたマニュアルに感染症対策の記載がないことを指摘し「5月に改訂された北海道の内容も踏まえ適宜修正する」との答弁がありました。

【児童生徒1人1台のタブレット端末導入を】改めてタブレット端末の早急な配備を提案し「この機会に家庭に貸し出しを前提としたタブレット端末の配備を検討しており、校内通信ネットワーク整備とともに今年度中の導入を目指し、今後補正予算要求を行う予定」との向きな答弁がありました。



牧田俊之議員



一般質問動画

【公共交通運行支援】コロナ感染症対策外出自粛要請で市内公共交通事業者も経営状態が悪化しており、国の2次補正を確認しまずは、感染防止対策を進め事業者と協議を行い利便性・サービス向上に努めたいとの答弁がありました。

【学生通学定期払い戻しを】学校休業による通学定期払い戻しについて、市にも7件問い合わせがあれど、土日祝日の乗車も可能なことからコロナウイルスの影響による特例対応はしないことを確認しているとの答弁がありました。

【市内の経済復興を】市内飲食店事業者が深刻な状況であり、地域経済が回復するためにも市内飲食店の活用を促すことは必要だが、市から企業への呼びかけをすることは難しく、「新北海道スタイル」については、周知について検討していくとの答弁がありました。



松井雅宏議員



6月11日 議案動画

【指定管理施設への休業補償】新型コロナウイルス感染症対策の型コロナウイルス感染防止対策の休館要請に応じた指定管理者に対する休業補償について、利用再開後も市民サービスの低下を招かず、安定的な施設運営を継続していたらとの観点から、今回の補正予算の妥当性および4月以降の補償支給の考え方を質疑しました。

【通学バスでの3密対策を】通常登校再開後の市内高校通学バスにおいて、過密状態があることを指摘し、通学バスの現況調査の実施と一時的に観光バスを手配し3密を回避する対応を求め、調査するとの答弁がありました。

【先端設備の導入】苫小牧テクノセンターに北日本で唯一導入される「超微細四次元X線CT解析装置」について、アフターコロナの地域ものづくり産業に弾みをつけるという観点から提案を交えて質疑を交わしました。



首藤孝治議員



6月12日 議案動画

【中小事業者持続化支援事業の支給要件緩和を】中小事業者へ幅広くかつ早急に支援するための事業であるが、支給要件が厳しいことを指摘し、今後の支給要件緩和を要望しました。

【氷上の甲子園の代替大会開催を】毎年8月に開催される氷上の甲子園（全国高等学校選抜アイスホッケー大会）が中止となる補正予算を受け、アイスホッケーを含む各種スポーツ競技の大会について、市長杯等の代替大会を検討するよう要望しました。

【エンターテインメント関連事業者への助成拡大を】新型コロナウイルスの影響は、ライブハウスや劇場、イベント企画運営、機材のレンタル、舞台・音響・照明などエンターテインメント関連の事業者も多岐にわたり大きな打撃を受けているため市独自の追加助成拡大を要望しました。

日本共産党市議団

小野寺幸恵・原 啓司・富岡 隆



小野寺幸恵議員

【国際リゾート構想の見直し】コロナ禍により国内観光客や外国人観光客が減少した事象から、「ひとたび危機が起こると大きな影響を受ける脆弱性を持っているのが国際リゾートであることが明らかになった」と、市長の姿勢を見直すよう求めました。

市長は、「アフターコロナが課題。国際リゾートはチャレンジし甲斐があるテーマ」と答えました。

【国際リゾート環境影響調査】北海道知事がIR誘致を見送った要因でもある猛禽類について、実態調査が行われておらず、市が毎年調査を実施している指標鳥であるアオサギにも触れられていないことを指摘し、さらなる調査を求めました。

また、ウトナイ湖の水位が1969年から約80cmも下がっていることから、ウトナイ湖周辺の環境を守るうえで、リゾートによる取水はすべきではないと求めました。



富岡 隆議員

【休業支援金の支給遅れ深刻】コロナ関連支援策の審議で、休業支援金の支給遅れの問題を取り上げ、市の姿勢を質疑しました。道の支援金20万円に市が10万円上乗せした個人事業者向けの支援金は、約450の対象事業者のうち支給決定はわずか7件となっており、飲食店など法人、個人事業者合わせて対象事業者は約650見込まれていますが、道の支援金10万円に市の20万円を上乗せする給付金の支給決定は5件にとどまっている、支給はいまだに進んでいないと指摘しました。「道の休業支援金に市の上乗せ分の支給がなぜここまで遅れているのか。一日も早く事業者を救済するために、事態を重く受け止め、道に強く要請すべきだ」と迫りました。

市長は「ここまで遅くなることは思わなかった。スピード感を持ってできないのか、側面的に道に言っていく」と答えました。



原 啓司議員

【特別定額給付金事業について】新型コロナウイルスの感染拡大で事業者への休業要請が行われる中、家計へも大きく影響が出ています。全国的には、特別定額給付金の支給要件から外れる4月28日以降に生まれた新生児に対しても支給対象範囲を拡大する自治体が増えていることを他都市の例を示しながら指摘し、本市での検討状況について質疑しました。

これに対し、「他市での支給拡大の動きはあるが、本市での独自の財源による給付金の支給は検討していない」と答えました。

また、ホームレスの方への制度の周知や申請への支援のあり方について、市の取り組み状況を質疑しました。担当者からは、「6月4日に市内の巡回を行い制度の周知と実態の把握を行った」「ネットカフェなどでの長期滞在されている方々なども含め、必要な支援を行っていく」と答えました。

無所属

高秀 議員

新型コロナウイルス感染症に対する市の現状、対応について質問しました。現状から「正しく恐れる必要がある」と市の答弁がありました。屋外、野外でのマスクの利用方法については、「正しい予防とわかりやすい周知」を両立していきたいと答弁がありました。

SNSを利用した情報発信については、市は現在、Facebook（フェイスブック）、LINE（ライン）の運用をしていますが、情報の拡散性の高さからTwitter（ツイッター）を早期に導入すべき、と質問しました。市は「Twitterの導入は慎重に判断したい」と答弁がありました。

新型コロナウイルス感染症対策に 関しての議会の取り組みは？



新型コロナウイルス感染症対策に 関する緊急申し入れ



市民と事業者への支援など、新型コロナウイルス感染症の対策が早急に講じられるよう、4月23日(木)市長に対し緊急申し入れをおこないました。

【申し入れ項目 ①中小企業・小規模事業者への経営支援について ②幼児・児童・生徒に対する支援について ③市民周知の徹底について ④関係機関への要望活動について ⑤上記項目に必要な予算措置を早急に講じること】

◆議会費の減額

新型コロナウイルス感染症対策に向けた財政協力のため、令和2年度の議会費の減額をおこないます。

○政務活動費

政務活動費の2分の1を減額する。

(減額分：420万円)

○行政視察

各常任委員会、議会運営委員会の行政視察を中止し減額する。

(減額分：594万円)

○議員報酬

議員報酬7月分を8%減額する。

(減額分：99万5,200円)

総額
約1,113万円
を削減



議会の傍聴について教えて！

第7回定例会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため傍聴はご遠慮いただきました。なお、インターネット中継では、これまでどおり本会議・議会改革検討会を視聴いただきました。議会の模様は録画中継でもご覧になれます。

※スマートフォンでの議会中継の
視聴はこちらから。



新型コロナウイルスの 支援対策や発生状況などの 情報を早く知りたい！

苫小牧市LINE公式アカウントで新型コロナウイルスに関する情報が配信されています。「事業者向け支援」「道内の発生状況」「一般相談窓口に関する事」など。登録して早期に情報キャッチを！

※友だち追加は

こちらから。



議会日程のお知らせ

●第9回市議会定例会

月日	内 容	
9月2日(水)	陳情締切り(17:00まで)	
9月3日(木)	本会議	報告・一般質問
9月4日(金)~ 8日(火)	本会議	一般質問・議案等審議
9月9日(水)	常任委員会	
9月10日(木)	特別委員会	
9月11日(金)	議会改革検討会	
	本会議(議案等審議)	

※9月3日から10日の開始時間は10時(予定)からになります。(ただし11日は未定です)

※日程などについては変更になる場合があります。(土・日・祝日は休会)

詳細は、議会事務局にお問い合わせください。

編集 後 記

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、議会の傍聴が制限される中で行われた、6月定例会でした。このような時に、「いかにして市民の皆様へに議会の内容をわかりやすく、親しみやすい紙面でお伝えしていくか」という議会だよりの役割について改めて考える機会となりました。

今後とも、少しでも多くの市民の皆様へ手に取っていただき、親しんでいただける「市議会だよりの」を目指して編集委員会一同頑張っております。

とまこまい市議会だよりの

編集委員 原 啓 司

とまこまい市議会だよりの編集委員会

板谷 良久・山谷 芳則・大西 厚子・大野 正和・橋本 智子
越川 慶一・原 啓司・桜井 忠・触沢 高秀